縄文時代

名前

問1　縄文時代における食生活の工夫と、それに伴う住環境の変化について述べた文として正しいものはどれですか。（2016年 愛知県公立入試 類似）

1. 青銅器や鉄器などの金属器を用いて効率的に食料を生産するようになり、外敵を防ぐための環濠集落が作られた
2. 氷河期が終わり温暖になったことで大型動物が絶滅したため、移動を繰り返しながら洞窟で暮らすようになった
3. 大陸から伝わった稲作が広まったことで食料の余剰が生まれ、それを保管するために高床倉庫が普及した
4. 狩猟・採集による食料確保に加え、土器で煮炊きを行うことで食べられるものが増え、竪穴住居での定住が進んだ

問2　縄文時代の遺跡である貝塚が、当時の社会や生活を研究する上で「考古学的資料」として極めて重要視されている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 香川県公立入試 類似）

1. 集落の周囲を深い溝で囲むことで、稲作をめぐる集落間の争いがあったことや、防衛のための組織的な仕組みがあったことを示すから。
2. 炭化した米や高床倉庫の跡が発見されることで、当時の人々が計画的に食料を生産・貯蔵していた社会構造を裏付けるから。
3. 巨大な石材を用いた石室や、死者とともに埋められた豪華な副葬品が発見されることで、当時の強力な権力者の存在を証明できるから。
4. 食べた後の貝殻や骨、破損した土器などが堆積しているため、当時の人々の食生活や利用していた道具の種類を具体的に知ることができるから。

問3　約1万年以上続いた縄文時代の生活スタイルと、そこで使われた道具の関係について、正しい説明はどれですか。（2024年 熊本県公立入試 類似）

1. 青銅器や鉄器が普及したことで、大規模な戦争や移動生活が繰り返された
2. 大型の石造建築が造られ、それらを装飾するために精巧な土器が発達した
3. 磨製石器や弓矢、土器などが使われ、自然環境に合わせた定住生活が行われた
4. 文字が発明されたことで、法律や契約に基づいた高度な都市生活が営まれた

問4　約1万年前に氷期が終わり、日本列島の周辺環境が変化した際の様子について説明した文として、適切なものを選択してください。（2019年 千葉県公立入試 類似）

1. 気候が温暖になり、海面が上昇したことで日本列島は現在の姿に近づいた
2. 気候が温暖になり、海面が下降したことで沿岸部に広大な平野が形成された
3. 気候が寒冷になり、海面が下降したことで日本列島はユーラシア大陸と陸続きになった
4. 大規模な地殻変動が起こり、日本列島は大陸から切り離されて島国となった

問5　山形県の西ノ前遺跡から出土した、その美しい造形から「縄文の女神」として国宝に指定されている土製品についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 縄文時代に作られた土偶の一種であり、当時の人々の祈りや願いが込められている。
2. 飛鳥時代の寺院跡から出土した仏像の原型であり、鎮護国家の思想を反映している。
3. 古墳時代の古墳の頂上付近から発見された埴輪であり、葬られた有力者の権威を示している。
4. 弥生時代の遺跡から見つかった土偶であり、大陸から伝わった稲作の成功を祈るために使われた。

問6　青森県に位置し、大型掘立柱建物跡などの発見によって縄文時代の定住生活の実態を明らかにした、日本最大級の集落跡は何か。（2025年 北海道公立入試 類似）

1. 吉野ヶ里遺跡
2. 岩宿遺跡
3. 三内丸山遺跡
4. 登呂遺跡

問7　山形県舟形町で出土し、高さが約45cmあり国宝にも指定されている「縄文の女神」について述べた文として、歴史的な事実に基づいた正しい説明を選びなさい。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 弥生時代の遺跡から発見された青銅器であり、大陸との交流を示す資料である。
2. 古墳の周囲に並べられた埴輪の一種であり、武人や馬の形をしたものが多い。
3. 縄文時代中期に作られた土偶であり、当時の人々の信仰や祈りの対象であった。
4. 飛鳥時代に大陸から伝わった仏教の影響を受けて作られた、初期の仏像である。

問8　縄文時代の遺跡から多く発見される、当時の人々が定住生活を始めたことを示す遺構について、地面を掘りくぼめた床に柱を立て、屋根をかけた住居を何と呼ぶか答えなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）

1. 高床倉庫
2. 寝殿造
3. 竪穴住居
4. 書院造

問9　青森県にある三内丸山遺跡をはじめ、日本各地の縄文時代の遺跡から見つかる「土偶」について、その製作背景や当時の生活の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 香川県公立入試 類似）

1. 王や豪族といった有力者が現れ、巨大な前方後円墳が築かれた際に、死者を弔うために作られた。
2. 大陸から伝わった仏教の教えが広まり、寺院の本尊として拝むために精巧に作られた。
3. 本格的な稲作が広まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や金属器が普及する中で、魔除けとして作られた。
4. 縄文土器が作られ、狩猟や採集による定住生活が行われる中で、食物の豊作や多産を祈るために作られた。

問10　縄文時代に見られる「土偶」と、後の古墳時代に見られる「埴輪」を比較した説明として、正しいものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 土偶は、豊かな収穫や安産などのまじないのために縄文時代に作られたが、埴輪は古墳の主の供養や魔除けとして古墳時代に作られた。
2. 土偶は、弥生時代に稲作が伝わった際に祭祀用として広まったが、埴輪は縄文時代に集落の守り神として置かれた。
3. 土偶は、古墳の内部に副葬品として納められたが、埴輪は住居跡から発見されることが多く、日常的な食器として使われた。
4. 土偶は、大陸から伝わった金属器の影響を受けて作られたが、埴輪は日本独自の土器文化から発展した石製品である。

問11　縄文時代の遺跡である貝塚の周辺から発見される、表面に縄目などの特徴的な文様が施された道具について、その主な使用目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

1. 採取した木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするために用いられた。
2. 収穫した稲を長期間蓄えるための、貯蔵専用の器として主に用いられた。
3. 大陸から伝わった青銅器や鉄器を加工するための、高温の炉として用いられた。
4. 亡くなった人を埋葬する際に、副葬品として納める祭祀専用の道具として用いられた。

問12　山形県の西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」に代表される、縄文時代に作られた土製の人形について、その名称と当時の人々が込めた願いの組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 土偶 ― 豊かな収穫や安産を祈るため
2. 勾玉 ― 魔除けや身分を示す装飾品とするため
3. 銅鐸 ― 稲作の豊作を願う祭りの道具とするため
4. 埴輪 ― 亡くなった王の権威を示し、供養するため

縄文時代

名前

問1　約1万年以上続いた縄文時代の生活スタイルと、そこで使われた道具の関係について、正しい説明はどれですか。（2024年 熊本県公立入試 類似）

1. 文字が発明されたことで、法律や契約に基づいた高度な都市生活が営まれた
2. 大型の石造建築が造られ、それらを装飾するために精巧な土器が発達した
3. 青銅器や鉄器が普及したことで、大規模な戦争や移動生活が繰り返された
4. 磨製石器や弓矢、土器などが使われ、自然環境に合わせた定住生活が行われた

問2　縄文時代の人々は、竪穴住居に住み、狩りや漁、採集を行って生活していました。こうした生活の中で、食べた後の貝殻や動物の骨、役目を終えた石器や土器などが一定の場所に積み重なって形成された、当時の生活を知るための重要な考古学的資料となる遺跡を何と呼びますか。（2018年 香川県公立入試 類似）

1. 貝塚
2. 環濠集落
3. 高地性集落
4. 古墳

問3　青森県にある三内丸山遺跡の特徴を説明した新聞記事において、この遺跡が「縄文時代の生活観を大きく変えた」とされる理由として、当時の人々の暮らしの様子を正しく説明しているものはどれか。（2025年 北海道公立入試 類似）

1. 本格的な稲作が始まり、食料を蓄えるための高床倉庫や、周囲を堀で囲んだ環濠集落が形成された。
2. 青銅器や鉄器などの金属器が普及し、身分の差が生まれるとともに大規模なクニ同士の争いが起きた。
3. 打製石器を用いてナウマン象やヘラジカなどの大型動物を追いながら、移動生活を繰り返していた。
4. 大型掘立柱建物跡や多数の竪穴住居が見つかり、長期間にわたる大規模な定住生活が行われていた。

問4　縄文時代の遺跡から数多く出土する、主に女性をかたどったとされる土製の像を何と呼びますか。自然の豊かな実りや、病気・けがの回復を願うまじないの儀式に使われたと考えられているものを選びなさい。（2023年 徳島県公立入試 類似）

1. 石包丁
2. 埴輪
3. 土偶
4. 銅鐸

問5　縄文時代の遺跡から多く発見される、当時の人々が定住生活を始めたことを示す遺構について、地面を掘りくぼめた床に柱を立て、屋根をかけた住居を何と呼ぶか答えなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）

1. 書院造
2. 竪穴住居
3. 高床倉庫
4. 寝殿造

問6　縄文時代の人々が、食物の豊作や子孫の繁栄、あるいは病気や怪我の治癒などを願うための信仰として用いた、女性をかたどった土製の像を何と呼びますか。（2023年 香川県公立入試 類似）

1. 埴輪
2. 石包丁
3. 銅鐸
4. 土偶

問7　佐賀県の東名遺跡（ひがしみょういせき）では、約8千年前の地層から植物の繊維で編まれた国内最古級の「編みかご」が発見されました。このような発見から推測される、当時の人々の生活習慣や信仰に関する記述として正しいものを次の中から選んでください。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. 有力な王が各地を支配しており、その権力を象徴するために巨大な前方後円墳が造られた。
2. 仏教の教えが広まり、国家の安泰を願って各地に国分寺や国分尼寺が建立された。
3. 大規模な灌漑設備を整えて稲作を行い、村同士の争いに備えて周囲に堀を巡らせた環濠集落で暮らした。
4. 自然の恵みに頼った生活を送っており、魔よけや豊かな収穫を祈るために土偶（どぐう）が作られた。

問8　縄文時代における食生活の工夫と、それに伴う住環境の変化について述べた文として正しいものはどれですか。（2016年 愛知県公立入試 類似）

1. 青銅器や鉄器などの金属器を用いて効率的に食料を生産するようになり、外敵を防ぐための環濠集落が作られた
2. 狩猟・採集による食料確保に加え、土器で煮炊きを行うことで食べられるものが増え、竪穴住居での定住が進んだ
3. 氷河期が終わり温暖になったことで大型動物が絶滅したため、移動を繰り返しながら洞窟で暮らすようになった
4. 大陸から伝わった稲作が広まったことで食料の余剰が生まれ、それを保管するために高床倉庫が普及した

問9　縄文時代の遺跡からは、女性をかたどったとされる土偶など、当時の精神文化を反映した遺物が多く発見されています。これらの遺物が作られた目的や背景として最も適切な説明を選びなさい。（2024年 熊本県公立入試 類似）

1. 自然の恵みに感謝し、食べ物の豊かさや安産などを祈るために作られた
2. 稲作が普及し、収穫した米を保存するためのまじないとして作られた
3. 大陸との交易において、有力者が自分の富や権力を誇示するために作られた
4. 身分の高い人物が亡くなった際、その墓である古墳に副葬品として納めるために作られた

問10　縄文時代の遺跡から発見される、人間を模した土製品（土偶）に関する記述として、当時の人々の暮らしや考え方を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 亡くなった豪族の権威を示すため、巨大な墓の周辺に副葬品として配置された
2. 自然の恵みや生命の誕生を願う、当時の人々の切実な信仰心に基づき製作された
3. 米作りの儀式において、神の依代として用いられた青銅製の道具である
4. 定住生活が始まったことで、集落の入り口に魔除けとして立てられた石像である

問11　縄文時代における自然環境の変化と人々の暮らしの関係について、正しい背景を説明しているものはどれですか。（2022年 山口県公立入試 類似）

1. 激しい気候変動を乗り切るために、共同体で大規模な金属器の生産を行い、近隣の集落と食料を奪い合う戦争が日常化した。
2. 温暖化により落葉広葉樹林や照葉樹林が広がり、ドングリなどの木の実が豊富になったため、採集活動が重要な食料確保手段となった。
3. 寒冷化によって大型動物が絶滅したため、人々は食料を求めて移動を繰り返す洞穴での生活を余儀なくされた。
4. 大陸と陸続きになったことで新たな家畜が持ち込まれ、広大な牧場での放牧を主体とした生活へと移行した。

問12　縄文時代の遺跡である貝塚が、当時の社会や生活を研究する上で「考古学的資料」として極めて重要視されている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 香川県公立入試 類似）

1. 集落の周囲を深い溝で囲むことで、稲作をめぐる集落間の争いがあったことや、防衛のための組織的な仕組みがあったことを示すから。
2. 巨大な石材を用いた石室や、死者とともに埋められた豪華な副葬品が発見されることで、当時の強力な権力者の存在を証明できるから。
3. 食べた後の貝殻や骨、破損した土器などが堆積しているため、当時の人々の食生活や利用していた道具の種類を具体的に知ることができるから。
4. 炭化した米や高床倉庫の跡が発見されることで、当時の人々が計画的に食料を生産・貯蔵していた社会構造を裏付けるから。

問13　縄文時代の人々が製作した「土偶」について、その特徴や目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 徳島県公立入試 類似）

1. 安産や豊作を祈るまじない、あるいは病気の治癒を願う儀式の道具として用いられた。
2. 大陸から伝わった稲作技術とともに、収穫した稲の穂を摘み取るための道具として広まった。
3. 武士が戦場に赴く際、勝利を祈願して寺社に奉納するための供え物として作られた。
4. 亡くなった有力者の権力を示すために、巨大な墓の周囲に並べる装飾として作られた。

縄文時代

名前

問1　縄文時代の遺跡からは、女性をかたどったとされる土偶など、当時の精神文化を反映した遺物が多く発見されています。これらの遺物が作られた目的や背景として最も適切な説明を選びなさい。（2024年 熊本県公立入試 類似）

1. 身分の高い人物が亡くなった際、その墓である古墳に副葬品として納めるために作られた
2. 大陸との交易において、有力者が自分の富や権力を誇示するために作られた
3. 稲作が普及し、収穫した米を保存するためのまじないとして作られた
4. 自然の恵みに感謝し、食べ物の豊かさや安産などを祈るために作られた

問2　約1万年前に氷期が終わり、日本列島の周辺環境が変化した際の様子について説明した文として、適切なものを選択してください。（2019年 千葉県公立入試 類似）

1. 気候が寒冷になり、海面が下降したことで日本列島はユーラシア大陸と陸続きになった
2. 気候が温暖になり、海面が上昇したことで日本列島は現在の姿に近づいた
3. 大規模な地殻変動が起こり、日本列島は大陸から切り離されて島国となった
4. 気候が温暖になり、海面が下降したことで沿岸部に広大な平野が形成された

問3　縄文時代の遺跡から出土する、表面に縄目の文様が施されたり、大きな眼鏡のような目を持つ「遮光器土偶」などの土製品について、その当時の使われ方として最も適切な説明を選びなさい。（2026年 千葉県公立入試 類似）

1. 亡くなった豪族の墓である古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めるために使われた。
2. 稲作が普及した社会において、収穫した米を保存するための頑丈な容器として使われた。
3. 大陸から伝わった仏教の教えに基づき、寺院の内部を飾るための仏像として使われた。
4. 食物の豊穣や安産、病気の回復などを願うための、呪術的な道具として使われた。

問4　縄文時代から弥生時代にかけての住居の構造について、地面を掘りくぼめる方法が取られた主な理由として、当時の生活環境から考えられる説明として最も適切なものはどれか。（2017年 茨城県公立入試 類似）

1. 大規模な灌漑施設を作る際、土を掘り出す作業と同時に建築するため
2. 仏教の影響を受け、寺院の建築様式にならって地面に直接柱を立てないようにするため
3. 床を地面から高く離すことで、収穫した穀物の湿気を防ぐため
4. 床を地面より低くすることで、室内の温度を一定に保ちやすくするため

問5　日本の古代文化における「土偶」と「はにわ」の違いについて、時代背景と目的の観点から説明したものとして正しいものはどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）

1. 土偶は写実的な人物像として奈良時代に完成したが、はにわは縄文時代に土器の蓋として実用的に使われていた。
2. 土偶は縄文時代に作られ、豊穣や魔除けを祈る呪術的な道具であったが、はにわは古墳時代に作られ、古墳を飾り立てるためのものであった。
3. 土偶は弥生時代に大陸から伝わった青銅器の一種であるが、はにわは飛鳥時代に仏教とともに伝わった石像の技術で作られた。
4. 土偶は権力者の死を悼むために古墳の内部に納められたが、はにわは狩猟の成功を願って森の入り口に置かれた。

問6　縄文時代に作られた、人間をかたどった特徴的な土製品である「土偶」について、この道具が作られた主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めたり境界を示したりするために作られた
2. 豊かな収穫や安産などを祈るための、信仰の道具として作られた
3. 食料を保存したり、煮炊きを行ったりするための日常的な容器として作られた
4. 大陸から伝わった稲作の技術を広めるための儀式の道具として作られた

問7　青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 岩宿遺跡
2. 吉野ヶ里遺跡
3. 三内丸山遺跡
4. 登呂遺跡

問8　縄文時代の遺跡である貝塚が、当時の社会や生活を研究する上で「考古学的資料」として極めて重要視されている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 香川県公立入試 類似）

1. 食べた後の貝殻や骨、破損した土器などが堆積しているため、当時の人々の食生活や利用していた道具の種類を具体的に知ることができるから。
2. 炭化した米や高床倉庫の跡が発見されることで、当時の人々が計画的に食料を生産・貯蔵していた社会構造を裏付けるから。
3. 巨大な石材を用いた石室や、死者とともに埋められた豪華な副葬品が発見されることで、当時の強力な権力者の存在を証明できるから。
4. 集落の周囲を深い溝で囲むことで、稲作をめぐる集落間の争いがあったことや、防衛のための組織的な仕組みがあったことを示すから。

問9　紀元前2000年ごろ、世界でインダス文明が栄えていた時期の日本列島における生活の様子を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 愛知県公立入試 類似）

1. 金属器が伝来して武器や祭祀の道具として使われ、有力な王を葬るための巨大な前方後円墳が築かれた
2. 表面に縄の模様がついた厚手の土器を用いて煮炊きを行い、地面を掘り下げて床を作った住居に住んでいた
3. 土器はまだ作られておらず、ナウマンゾウなどの大型の獲物を追いながら移動して生活していた
4. 薄手で硬い赤褐色の土器を用いて食料を保存し、大規模な水田での稲作を中心とした生活を送っていた

問10　縄文時代の人々は、竪穴住居に住み、狩りや漁、採集を行って生活していました。こうした生活の中で、食べた後の貝殻や動物の骨、役目を終えた石器や土器などが一定の場所に積み重なって形成された、当時の生活を知るための重要な考古学的資料となる遺跡を何と呼びますか。（2018年 香川県公立入試 類似）

1. 環濠集落
2. 高地性集落
3. 古墳
4. 貝塚

問11　縄文時代につくられた素焼きの人形で、豊かな収穫や病気の回復、魔除けなどを祈るために用いられたとされる遺物を何といいますか。（2026年 熊本県公立入試 類似）

1. 埴輪
2. 土偶
3. 銅鐸
4. 石包丁

問12　石器時代の道具や生活の変化について述べた文として、縄文時代の特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2018年 徳島県公立入試 類似）

1. 氷河期が終わり温暖な気候になる中で、石をみがいた磨製石器や土器が使われ始めた。
2. 本格的な水田稲作が広まったことで、石包丁を用いた穂首刈りが一般的になった。
3. マンモスなどの大型の獣を追うため、移動生活に適した打製石器のみを使い続けた。
4. 青銅器や鉄器が大陸から伝わり、石器は次第に祭祀用の道具へと変化していった。

縄文時代

名前

問1　北海道やその周辺地域において、樹皮を加工した繊維で織られた「アットゥシ」と呼ばれる伝統的な衣服や、独自のアイヌ語といった文化を継承してきた、法律によって日本の先住民族と明記されている人々を何と呼びますか。（2026年 埼玉県公立入試 類似）

1. 琉球民族
2. 渡来人
3. 大和民族
4. アイヌ民族

問2　北海道にはその土地の自然環境や地形に由来する地名が多く残されています。例えば、世界自然遺産にも登録されている「知床（しれとこ）」という地名は、ある先住民族の言葉で「大地の先」を意味する「シリエトク」という言葉に由来しています。この独自の言語や文化を持ち、北海道や千島列島などに古くから住んでいる民族の名称を答えなさい。（2024年 山形県公立入試 類似）

1. 渡来人
2. 琉球民族
3. アイヌ民族
4. 蝦夷（えみし）

問3　青森県にある三内丸山遺跡の特徴を説明した新聞記事において、この遺跡が「縄文時代の生活観を大きく変えた」とされる理由として、当時の人々の暮らしの様子を正しく説明しているものはどれか。（2025年 北海道公立入試 類似）

1. 青銅器や鉄器などの金属器が普及し、身分の差が生まれるとともに大規模なクニ同士の争いが起きた。
2. 大型掘立柱建物跡や多数の竪穴住居が見つかり、長期間にわたる大規模な定住生活が行われていた。
3. 本格的な稲作が始まり、食料を蓄えるための高床倉庫や、周囲を堀で囲んだ環濠集落が形成された。
4. 打製石器を用いてナウマン象やヘラジカなどの大型動物を追いながら、移動生活を繰り返していた。

問4　約1万年前に地球の温暖化が進んで海面が上昇し、日本列島が形成された時期の生活の様子として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 山口県公立入試 類似）

1. 強力な支配者が現れ、自らの権威を示すために巨大な古墳を築き、その周囲に埴輪を並べるようになった。
2. 大陸から伝わった稲作が本格的に広まり、収穫した米を保存するために高床倉庫が作られるようになった。
3. 地面を掘り下げた竪穴住居に住み、弓矢を用いた狩猟や木の実の採集、漁を中心とした生活を営んでいた。
4. 各地で大規模な灌漑施設が整えられ、太陽暦を用いて農作業の時期を管理する生活が始まった。

問5　青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 岩宿遺跡
2. 吉野ヶ里遺跡
3. 三内丸山遺跡
4. 登呂遺跡

問6　佐賀県の東名遺跡（ひがしみょういせき）では、約8千年前の地層から植物の繊維で編まれた国内最古級の「編みかご」が発見されました。このような発見から推測される、当時の人々の生活習慣や信仰に関する記述として正しいものを次の中から選んでください。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. 有力な王が各地を支配しており、その権力を象徴するために巨大な前方後円墳が造られた。
2. 仏教の教えが広まり、国家の安泰を願って各地に国分寺や国分尼寺が建立された。
3. 自然の恵みに頼った生活を送っており、魔よけや豊かな収穫を祈るために土偶（どぐう）が作られた。
4. 大規模な灌漑設備を整えて稲作を行い、村同士の争いに備えて周囲に堀を巡らせた環濠集落で暮らした。

問7　縄文時代の遺跡である貝塚の周辺から発見される、表面に縄目などの特徴的な文様が施された道具について、その主な使用目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

1. 大陸から伝わった青銅器や鉄器を加工するための、高温の炉として用いられた。
2. 亡くなった人を埋葬する際に、副葬品として納める祭祀専用の道具として用いられた。
3. 採取した木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするために用いられた。
4. 収穫した稲を長期間蓄えるための、貯蔵専用の器として主に用いられた。

問8　石器時代の道具や生活の変化について述べた文として、縄文時代の特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2018年 徳島県公立入試 類似）

1. 本格的な水田稲作が広まったことで、石包丁を用いた穂首刈りが一般的になった。
2. 氷河期が終わり温暖な気候になる中で、石をみがいた磨製石器や土器が使われ始めた。
3. 青銅器や鉄器が大陸から伝わり、石器は次第に祭祀用の道具へと変化していった。
4. マンモスなどの大型の獣を追うため、移動生活に適した打製石器のみを使い続けた。

問9　縄文時代の遺跡から多く発見される、当時の人々が定住生活を始めたことを示す遺構について、地面を掘りくぼめた床に柱を立て、屋根をかけた住居を何と呼ぶか答えなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）

1. 高床倉庫
2. 書院造
3. 寝殿造
4. 竪穴住居

問10　縄文時代につくられた素焼きの人形で、豊かな収穫や病気の回復、魔除けなどを祈るために用いられたとされる遺物を何といいますか。（2026年 熊本県公立入試 類似）

1. 石包丁
2. 土偶
3. 銅鐸
4. 埴輪

問11　縄文時代に作られた、まじないや豊かな収穫、安産などを祈るために用いられたとされる、人や動物をかたどった土製品を何といいますか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 埴輪
2. 土偶
3. 青銅器
4. 石包丁

問12　三内丸山遺跡の調査結果から推測される、縄文文化の生活や社会の様子について正しく説明しているものはどれですか。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 前方後円墳などの巨大な墳墓が築かれ、広域を支配する強力な王権が誕生していた。
2. 豊かな自然環境を背景に、狩猟・採集・漁労を行いながら大規模な定住生活を営んでいた。
3. 大陸から青銅器や鉄器が伝わり、武器や祭具として使用されることで集落間の争いが激化した。
4. 大規模な灌漑設備を用いた水田稲作が普及し、食料を蓄えるための高床倉庫が主流となった。

問13　日本の古代文化における「土偶」と「はにわ」の違いについて、時代背景と目的の観点から説明したものとして正しいものはどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）

1. 土偶は写実的な人物像として奈良時代に完成したが、はにわは縄文時代に土器の蓋として実用的に使われていた。
2. 土偶は弥生時代に大陸から伝わった青銅器の一種であるが、はにわは飛鳥時代に仏教とともに伝わった石像の技術で作られた。
3. 土偶は縄文時代に作られ、豊穣や魔除けを祈る呪術的な道具であったが、はにわは古墳時代に作られ、古墳を飾り立てるためのものであった。
4. 土偶は権力者の死を悼むために古墳の内部に納められたが、はにわは狩猟の成功を願って森の入り口に置かれた。

縄文時代

名前

問1　北海道やその周辺地域において、樹皮を加工した繊維で織られた「アットゥシ」と呼ばれる伝統的な衣服や、独自のアイヌ語といった文化を継承してきた、法律によって日本の先住民族と明記されている人々を何と呼びますか。（2026年 埼玉県公立入試 類似）

1. アイヌ民族
2. 大和民族
3. 渡来人
4. 琉球民族

問2　縄文時代の遺跡において、海岸や水辺に近い集落付近で見つかる、食べた後の貝殻や魚の骨、破損した土器などが堆積した場所を何といいますか。当時の人々の「ゴミ捨て場」としての性格を持ち、生活の痕跡（生活跡）を現代に伝えるものを選びなさい。（2024年 大分県公立入試 類似）

1. 高床倉庫
2. 貝塚
3. 環濠集落
4. 古墳

問3　山形県の西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」に代表される、縄文時代に作られた土製の人形について、その名称と当時の人々が込めた願いの組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 勾玉 ― 魔除けや身分を示す装飾品とするため
2. 土偶 ― 豊かな収穫や安産を祈るため
3. 埴輪 ― 亡くなった王の権威を示し、供養するため
4. 銅鐸 ― 稲作の豊作を願う祭りの道具とするため

問4　縄文時代に作られた、人間をかたどった特徴的な土製品である「土偶」について、この道具が作られた主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 食料を保存したり、煮炊きを行ったりするための日常的な容器として作られた
2. 豊かな収穫や安産などを祈るための、信仰の道具として作られた
3. 大陸から伝わった稲作の技術を広めるための儀式の道具として作られた
4. 古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めたり境界を示したりするために作られた

問5　石器時代の道具や生活の変化について述べた文として、縄文時代の特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2018年 徳島県公立入試 類似）

1. 氷河期が終わり温暖な気候になる中で、石をみがいた磨製石器や土器が使われ始めた。
2. 本格的な水田稲作が広まったことで、石包丁を用いた穂首刈りが一般的になった。
3. マンモスなどの大型の獣を追うため、移動生活に適した打製石器のみを使い続けた。
4. 青銅器や鉄器が大陸から伝わり、石器は次第に祭祀用の道具へと変化していった。

問6　青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 三内丸山遺跡
2. 登呂遺跡
3. 吉野ヶ里遺跡
4. 岩宿遺跡

問7　縄文時代の人々が、遮光器土偶に見られるような独特な形をした土製品を多く製作した理由として、当時の社会背景から考えられる背景はどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）

1. 強力な王が国を統一し、自分の権力を誇示するために同じ形の像を大量生産させたため。
2. 金属器がまだ普及しておらず、全ての調理器具や狩猟道具を土で作る必要があったため。
3. 自然の脅威や病気に対して、超自然的な力による解決や生命力の向上を祈る必要があったため。
4. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出するための芸術性を追求したため。

問8　縄文時代の遺跡から多く発見される、当時の人々が定住生活を始めたことを示す遺構について、地面を掘りくぼめた床に柱を立て、屋根をかけた住居を何と呼ぶか答えなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）

1. 竪穴住居
2. 書院造
3. 高床倉庫
4. 寝殿造

問9　縄文時代から弥生時代にかけての住居の構造について、地面を掘りくぼめる方法が取られた主な理由として、当時の生活環境から考えられる説明として最も適切なものはどれか。（2017年 茨城県公立入試 類似）

1. 大規模な灌漑施設を作る際、土を掘り出す作業と同時に建築するため
2. 仏教の影響を受け、寺院の建築様式にならって地面に直接柱を立てないようにするため
3. 床を地面から高く離すことで、収穫した穀物の湿気を防ぐため
4. 床を地面より低くすることで、室内の温度を一定に保ちやすくするため

問10　佐賀県の東名遺跡（ひがしみょういせき）では、約8千年前の地層から植物の繊維で編まれた国内最古級の「編みかご」が発見されました。このような発見から推測される、当時の人々の生活習慣や信仰に関する記述として正しいものを次の中から選んでください。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. 大規模な灌漑設備を整えて稲作を行い、村同士の争いに備えて周囲に堀を巡らせた環濠集落で暮らした。
2. 有力な王が各地を支配しており、その権力を象徴するために巨大な前方後円墳が造られた。
3. 自然の恵みに頼った生活を送っており、魔よけや豊かな収穫を祈るために土偶（どぐう）が作られた。
4. 仏教の教えが広まり、国家の安泰を願って各地に国分寺や国分尼寺が建立された。

問11　縄文時代に作られた土偶の中には、わざと体の一部を壊した状態で発見されるものが多くあります。このような特徴から推測される、土偶が作られた目的として最も適切なものはどれですか。（2023年 香川県公立入試 類似）

1. 土器を作る技術が未熟であったため、焼成の過程で自然に壊れてしまうことを前提とした観賞用。
2. 病気や怪我のある部分を壊すことで、その痛みを土偶に引き受けてもらおうとする身代わりの願い。
3. 集落間の争いにおいて、倒した敵の姿を土偶に投影し、戦勝を記念して破壊する儀礼用。
4. 大陸から伝わった高度な彫刻技術を模倣しようとして、失敗したものを廃棄した残骸。

問12　北海道にはその土地の自然環境や地形に由来する地名が多く残されています。例えば、世界自然遺産にも登録されている「知床（しれとこ）」という地名は、ある先住民族の言葉で「大地の先」を意味する「シリエトク」という言葉に由来しています。この独自の言語や文化を持ち、北海道や千島列島などに古くから住んでいる民族の名称を答えなさい。（2024年 山形県公立入試 類似）

1. 渡来人
2. 蝦夷（えみし）
3. アイヌ民族
4. 琉球民族

問13　縄文時代の遺跡から出土する、表面に縄目の文様が施されたり、大きな眼鏡のような目を持つ「遮光器土偶」などの土製品について、その当時の使われ方として最も適切な説明を選びなさい。（2026年 千葉県公立入試 類似）

1. 大陸から伝わった仏教の教えに基づき、寺院の内部を飾るための仏像として使われた。
2. 亡くなった豪族の墓である古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めるために使われた。
3. 稲作が普及した社会において、収穫した米を保存するための頑丈な容器として使われた。
4. 食物の豊穣や安産、病気の回復などを願うための、呪術的な道具として使われた。